「温泉から広がった私たち」
～地域の活性化を目指して～

特集2

愛南町

NPO 法人ハート in
ハートなんぐん市場
マネージャー
精神保健福祉士
中野　良治

法人の設立

平成18年9月にＮＰＯ法人ハートinハートなんぐん市場は設立された。当時の愛南町内の情勢は、長引く一次産業の低迷や町で一番の雇用吸収力のあった企業の撤退、それに関連した企業の倒産などが相次いだ後であった。町には「閉塞感」が漂っていたことを記憶している。

そのような中、この現状をわずかでも打破するために、地元の活性化につながる産業を興すことで雇用を生み出し、事業を通じて地域貢献を図れないかとの思いからＮＰＯ法人ハートinハートなんぐん市場は設立された。

山出憩いの里温泉の運営スタート

町営であった山出（やまいだし）温泉を平成19年4月より指定管理者として愛南町から委託を受け運営させていただいており、温泉、宿泊、レストラン、キャンプ場の運営を収益事業で行っている。レストランでの産直バイキング（写真1・2）やドッグラン、ペット宿泊などの新規事業も実施し利用者増を図ってきた。特に、土日祝日のみ営業の産直バイキングでは、地元農家とも提携し地元産・手作りにこだわった料理が約40種類並び好評を得ている。障害を持たれた方々も温泉受付やレストラン、施設清掃など各部署で当たり前に勤務しており、いわゆる「就労の場」という点でも創出することができた。この施設の運営をするまでは「福祉」を基盤に活動をしてきたが、観光業、飲食業、販売業、農業、漁業等といった様々な分野の方々とのネットワークを得ることができた。この点が、私たちの活動と視点の広がりを持たせてくれたと感じている。現在、町の人口減少に伴い利用者数も減ってはきているものの毎年6万人以上の来場者があり、交流拠点としての意味合いでも重要な位置づけと考えている。

写真２　地元産の素材を使った料理が並ぶ

写真１　産直バイキング

現在の事業

○観葉植物レンタル

法人化につながった事業が「エコテリアなんぐん市場」（就労継続支援Ａ型）（写真３）である。法人化以前より観葉植物のレンタル業開始に向け、ハウスの建設や顧客獲得の営業、併せて育成のノウハウを学ぶなど着々と準備を重ねた。現在では行政をはじめ地域の多くの方々に協力をいただき、業績も安定している。ここでは観葉植物の配達人を「グリーンポーター」と名づけ、〝街をみどりでいっぱいに〟と街中を回っている。

特集

温泉から広がる地域の活性化

写真３　エコテリアなんぐん市場観葉植物

地域は見受けられるものの大規模な生産地は見られず、日本国内で消費されるアボカドはほぼ輸入されたものとなっていること等である。そのような中、現在まで段階的に圃場の開墾をし、育苗・土づくり・圃場での管理方法などノウハウを蓄積してきた。昨年度からサンプルが出荷可能の状態となった。

写真５　結実したアボカド

○農業

平成21年より農業部門を開設し原木椎茸栽培（写真４）や稲作、野菜作りに取り組んでいる。また新たな品目としてアボカド栽培（写真５）を平成23年より開始した。理由として、輸入量が２０００年代に入り急増し日本でも日常的な果実となっていることや、温暖な愛南町で生産できる可能性、日本でも生産している

写真４　原木椎茸のホダ場

○あまご養殖

地元で唯一のあまご養殖（写真６）をされていた方から平成26年に事業承継した。当初は、荒天による給水システムの不具合で、稚魚が大量へい死することや病気の発生もあったが、愛媛大学水産研究センター、愛南漁協、愛南町水産課、養殖業者の方々の協力を得ることができ、少しずつ改善が図られてきた。

また上記機関と産学官民で協働の「サツキマス養殖プロジェクト」も進行中である。

写真６　あまご養殖場

最後に

私たちの先輩たちが20数年前に理念を掲げ実践してきた「地域資源循環」の活動。温泉の運営をさせていただき、その後の様々な事業につながり、それらがリンクしながら徐々にではあるが、歯車がかみ合ってきたように感じている。循環の輪を数多く創り出しながら、それらを統合していくことで地域活性化につなげていきたい。

愛南町の状況は人口減少（※）をはじめ、今後もさらに厳しさを増していくであろう。しかしそこは避けては通れず、この地域で何を守り、何をつくり、何をなくすのか…等々、様々な立場の人たちで先を見据えた検討やプロジェクトも始まっている。

私たちは既存の事業をしっかりと継続しながらも、新たな種を撒き続け、多くの人と関わり合い、協力し合いながら、持続可能な愛南町に合った成熟された地域を模索し続けていきたい。この先、街がどのような風景になっていくのか楽しみである。

※国立社会保障・人口問題研究所推計（愛南町）

２０１５年　総人口２１７４１人
　　高齢化率40・0％
２０４０年　総人口１１９４０人
　　高齢化率54・8％